

いわき民報

発行所 行民きわい
社報民きわい
(第一八三三番) 地番一町田市平
己克輝千 人行發金等編
五十五部一四 月ヶ一價定

待望の洋書
拳銃の町
平 館

旋風坑夫長屋を吹飛ばす

郡南、北部には降雹も見

二十七日午前十一時四十分ごろ赤井村福島炭礦附近に突然龍巻が巻き起り同礦相川坑選炭場五十坪、自動車庫十二坪、機械巻場及び機械場十四坪、坑夫長屋一棟を吹飛ばして東北方へ過ぎ去つたが幸ひ人畜に被害はなかつた、また同時刻植田の郡南方四ツ倉の郡北方面にも降雹あり若干農作物を荒した

暴れん坊雷の悪戯

小名濱測候所の談

右について小名濱測候所では語る
坑夫長屋を吹飛ばすやうな龍巻は未だ記録してをりませんしこの地方では珍らしいこととす、丁度その時刻は雷気があつたため雷と共に突風が起きたのでせう、この龍巻は上層雷流が雷によつて上下に交流しこれが部分的に発達して起るものですが、また降雹もその上層部の低い空気温によつて降出すわけです、當所の観測では大して農作物に被害はないと見えますが、これからは一寸々こうした「荒ん坊雷」が起るに注意が肝要です

蘭代金は新圓で

養蠶業者への嬉しい消息

春蠶蘭代金の支拂ひは三千圓ま原種種木は新圓拂ひと認められ半額が新圓拂ひ、半額封鎖とた、然し種子代は除かれると共決つたが、かくては現在の養蠶に原種用の借入金金の返済もこれ家経済は戦時中の痛手もあつてに準じて新圓での返済と定められ立ちゆかないばかりか、今後見られた

農業會の事務指導

農業者連は縣に呼應農林當局並に大藏省當局へ猛進で事務指導監査を行ふ
六月一日、大野、泉、二日、四倉、渡邊、三日、大浦、警崎、四日、勿來、湯町常盤製作所食堂に於いて第一の準備會を開くことに決つた

鯨と昆布配給

一人當りニシン二十匁(二匁)ト
三十、三十一の兩日ニシント
ロ昆布が配給される、鐵道以南は三十日鐵道以北は三十一日配給所で配給する

天候相談所を開設

一日の氣象記念日を卜して

小名濱測候所では來月一日が氣象記念日に當つてゐるので同日を卜して同所内に天候相談所を開設することになつた、このため農家、漁業者、炭礦は勿論、松市餘常旅館で開館されたが、一般の家庭でもビクニツクヤや一坪農園等について天候に就いてよく相談した上計雷が出来るとなつたわけだ、この測候所の御頭進出により一般利用者の受ける利益は相當大きくなつた

塩の供出良好

石城郡下の製鹽事情はその後順調な生産を見せ供出制當七十トに對し既に八十トの供出を二十八日正午から平市公會堂日見せ殊んと津方方面へ發送済み本間に總會を開いたとなつた

富土勞組總會

平市富土興業會社勞働組合では二十八日正午から平市公會堂日見せ殊んと津方方面へ發送済み本間に總會を開いたとなつた

大臣賞に輝く芳賀實氏

甘藷増産改良で大浦村御殿農村技術員芳賀實氏(四四)は甘藷増産品種改良に實績した功績に依り此程郡下初の農林大臣賞を授與された

花札賭博

内郷町無職古川幸一(四三)同薄井政男(四八)同薄井サツ(三九)同薄本タケ(五三)の四名は二十八日午後四時ごろ薄井方で花札賭博を開帳中平署員に發見されて平署へ檢査された

夫の意志を開拓に

引揚者根本さんの求めた途
臺灣から引揚げて來た一家が新で市内中平運字古館元軍用保護た、これを聞いた引揚者石城聯馬銀鑛場の五反歩を借受けつ、開拓に従事してゐたが馴れが多いたらうと農業會等と接洽したためその意志を繼いで妻が誰か子供を抱えて開拓に従事したため二十四日農具その他他増産上のごとに事しやうとする増産一家の決意夫の意志と長男吉雄君七長女多津子さん(五)を抱えて龜子さん(三)は一時途方に暮れたが、義さんは臺灣總督府府政務局に從(三)は一時途方に暮れたが、事し終戦後引揚げて來た一家だます、食生活も苦しくなるは袖導所の第一回竹細工養成工を決定、引揚者石城聯馬の斡旋一つで開張を続けることになつた

竹細工養成工

平市田町五四
小松米作
小松四郎

市の人口殖える一方

市の配給面から眺める
【二月】▽轉入、縣外六百六十七名、外地六十二名、▽轉出、縣外二百五十一名、【三月】▽轉入、縣外二百四十七名、外地三百三十七名、▽轉入、縣外二百五十五名、外地三十七名、【四月】▽轉入、縣外三百四十三名、外地二百二十四名、▽轉出、縣外二百九十四名、外地四名

市の人口殖える一方

市の配給面から眺める

戦災地平市の復興は資材難に悩まされつゝも割合順調に進んでゐるが、これと併行して附近各町村に疎開中の人も段々歸つて來るものが増えて來た、この人たちは市の方が郡部より配給が良いために歸りを急ぐため、この外復員者、外地引揚者等も加つて一日と市の人口は殖えて行く、住宅難の深刻なわけはこの数字によつて判る、以下は市配給課に調べた最近の配給面から見た人口の動である
▽一月、轉入六百二名、轉出四百九十二名、▽二月、轉入五百二十四名、轉出四百六十七名、▽三月、轉入七百二十名、轉出五百三十四名、▽四月、轉入千二百五名、轉出六百五十四名

類焼御見舞御禮

今回の火災に際し早速御馳つけ御助力を賜り且つ御見舞ひを蒙り厚く御禮申上候、拜禮の上御禮申上べきの處御尊名簿も有之紙上を以て御禮申上候
平市田町五四
小松米作
小松四郎

言寸きわい

ビールも愈々食糧に轉用することになつた食糧といふも勿論ビールを主食の代用に配給するものに非ず、ビールを作る原料の米、麥、甘藷などを引上げると、ビールも異存あるまゝ目下の處清酒はらつ外に置かれてゐるが出來秋の收穫如何に依つては清酒も醸造禁止なる覺悟が必要だ、和田農相が禁酒論者といふ理由ばかりでなく、食糧問題が斯くも逼迫してゐるのである、但し清酒の密造、検査數量が全國で二十萬石と發表されてゐる検査されぬものを含めると恐らく本年度の清酒醸造石數六十五萬石を超えるものであるまいか、此處に思ひを寄せる時禁酒と濁酒問題を眞剣に検討する必要がある、云ふまでもなく禁酒と生産面も考慮する必要がある

夫の意志を開拓に

引揚者根本さんの求めた途
臺灣から引揚げて來た一家が新で市内中平運字古館元軍用保護た、これを聞いた引揚者石城聯馬銀鑛場の五反歩を借受けつ、開拓に従事してゐたが馴れが多いたらうと農業會等と接洽したためその意志を繼いで妻が誰か子供を抱えて開拓に従事したため二十四日農具その他他増産上のごとに事しやうとする増産一家の決意夫の意志と長男吉雄君七長女多津子さん(五)を抱えて龜子さん(三)は一時途方に暮れたが、義さんは臺灣總督府府政務局に從(三)は一時途方に暮れたが、事し終戦後引揚げて來た一家だます、食生活も苦しくなるは袖導所の第一回竹細工養成工を決定、引揚者石城聯馬の斡旋一つで開張を続けることになつた

夫の意志を開拓に

引揚者根本さんの求めた途
臺灣から引揚げて來た一家が新で市内中平運字古館元軍用保護た、これを聞いた引揚者石城聯馬銀鑛場の五反歩を借受けつ、開拓に従事してゐたが馴れが多いたらうと農業會等と接洽したためその意志を繼いで妻が誰か子供を抱えて開拓に従事したため二十四日農具その他他増産上のごとに事しやうとする増産一家の決意夫の意志と長男吉雄君七長女多津子さん(五)を抱えて龜子さん(三)は一時途方に暮れたが、義さんは臺灣總督府府政務局に從(三)は一時途方に暮れたが、事し終戦後引揚げて來た一家だます、食生活も苦しくなるは袖導所の第一回竹細工養成工を決定、引揚者石城聯馬の斡旋一つで開張を続けることになつた

